

DPC データを用いた集中治療後症候群（PICS）予防の看護実践に関する研究について

1. 対象となる方

本研究では、2024年4月～2026年3月に、集中治療室に入室された人工呼吸器装着患者、敗血症、もしくは敗血症ショックと診断された患者様です。

2. 研究期間

予定研究期間：倫理委員会承認後～2026年3月31日

3. 研究背景

集中治療後症候群（PICS）あるいは PICS-F（家族にも影響を及ぼす）とは、集中治療室退室後から数年にわたって認められることがあります。QOL の低下が明らかになり、長期的な視点で患者を支援する必要性があると考えています。

入院から退院を見据えた継続的な看護実践について、実際の事例を振り返り、看護実践の必要性を明らかにし、予後改善の新たな取り組みをしたいと考えています。

4. 研究目的

集中治療後症候群（PICS）予防に関する看護実践を振り返ることで、予後改善に関連した看護実践を明らかにすることを目的としています

5. 研究代表者

中部労災病院 看護部 看護師 内山泉

6. 研究方法

使用するデータベースは匿名化処理がされており、個人情報提供されることはなく、個人情報を扱うことはいたしません。研究結果は、個人が特定できない形式で学会等に発表されます。収集する項目は、入院時年齢、入院時診断名、在院日数です。さらに詳細な項目内容についてご質問があれば、下記までご連絡ください。

7. 問い合わせ先

中部労災病院 看護部 内山泉

メールアドレス：uchiyama_iccn@yahoo.co.jp

電話番号 052-652-5511 （代表）